

活動の内省と目的設定#6

名前：ヘザー・オコネル 学校名：キング小学校 グループ名：キングズ
活動日：2016年11月02日（水）活動時間：30分

今回、レッスンは教室で行われて、時間が普通より少ないので、「ミニレッスン」になりました。日本語で体の部分を教えたが、ミニレッスンなので、「頭、肩、膝、足」という歌しかしませんでした。日本語の言葉を教える前に、歌の英語版を復習しました。次に、黒板に書いてある言葉と絵を指示しながら、日本語の言葉を一つ一つ教えました。そして、歌を練習するために、小さいグループに分けました。私のグループに遅刻した子供が入っていたので、歌を練習する前にもう一度体の部分の言葉を復習しました。歌を練習する時、言葉だけではなく、歌の行動も練習しました。次回のミニレッスンは顔の部分なので、歌の後半（顔についての分）をあまり練習しませんでした。グループの練習の後で、皆で歌を練習しました。私は歌の行動をして、子供達は一人一人日本語で私が指示している部分を行いました。

うまくいったことは最後の復習でした。一人の子供が答えなかったも、友達が助けてくれたので、最後に皆が答えられるようになりました。問題は子供達の集中力でした。理由が分かりませんでした。今回子供達はよく集中できませんでした。多分レッスンの内容がもっと楽しかったら、子供達はもっと集中できました。もう一つの問題は言葉しか教えませんでした。文化やマルチカルチャー等のことをしなかったため、包括のレッスンではなかったと思います。次回からもっと包括的なレッスンをしたいですが、時間が少ないので、出来るかどうか分かりません。しかし、一番いいレッスンを作るのは先生の役割なので、「Community & Social Justice」というアウトカムにつながると思います。なぜなら、先生がレッスンに努力しなかったら、子供をあまり手伝えないからです。